

# 北杜市小淵沢エリア活性化構想【概要版】

## エリアの現状

- ・リゾート地としての知名度、東京から約2時間と立地の良さが強み
- ・多種多様な観光施設が点在
- ・旅行者は関東方面から、40代～50代の女性が多く、リピーターが多い
- ・9割以上が自家用車等での来訪

## エリアの課題

- ・地方回帰の流れを継続、定着化させるための取組が必要
- ・20代～30代のグループ、ファミリー層の来訪が少ない
- ・自家用車での来訪者が多いが、エリア内の他の観光施設への波及効果を目指した、移手段の検討が必要

→ 小淵沢エリアが持つ観光面でのポテンシャルや、既存の取組を生かした活性化の推進が効果的



## 目指すべき将来像

### Forest Resort 小淵沢

～スポーツ・アウトドア・アートが織りなす、特別な体験に出会えるまち～



## 3つのありたい姿

### ① 家族で楽しめるスポーツとアウトドアの聖地

- ・エリアが本来持つ、豊かな自然環境を生かした、キャンプを中心に自然を満喫できるアウトドアが楽しめる。
- ・スケートや、スケートボードなど新たなスポーツ、また「馬のまち」としての特徴を生かした、他にはないスポーツ体験のほか、ウォーキング、サイクリング、ゴルフなどのスポーツが楽しめる。
- ・家族で楽しめるスポーツとアウトドアの聖地となっている。

### ② 都心から近い特別な体験ができるリゾート地

- ・首都圏からの立地の良さを生かし、都心から近い高原リゾート地としてより認知されている。
- ・自然の中でのアクティビティや馬と触れ合える体験を通し、「このエリアでしかできない体験」ができる観光地となっている。

### ③ 一流の芸術と食で心身共に健康になれるまち

- ・一流の「芸術」に触れられる美術館や、レストラン、カフェ、ホテルなどの「食」を楽しめる施設と、自然を生かしたアクティビティを融合することで「心も体もリフレッシュできるまち」となっている。

## ターゲット

スポーツやアウトドア、健康に関心が高い、首都圏のファミリー層

## 活性化施策

- エリア内を周回できる移手段の確保
- 各種アクティビティの紹介・コーディネート体制の充実
- 戦略的なプロモーションの推進
- 関連人材の育成
- 誘客イベント・体験教室の開催促進

- テレワーク、ワーケーション・二拠点居住の推進
- エリアの特徴を生かしたスポーツや体験コンテンツの造成

- 地域の農産物・お酒等の地産地消の推進
- エリアの特徴を生かしたウェルネスツーリズムの推進
- エリア内の施設・サービス等利用促進

## 推進体制

推進体制については、新たに「小淵沢エリア観光推進委員会」を創設し、進捗管理や各関係団体間の連絡調整、情報共有など中心的な役割を担う。